

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|--|------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| <input type="checkbox"/> 1 | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> | ○ | 隣の店で、今まで住んでいた隣人やお友達との出会いがあり、懐かしく話し込んだりしている。また地域のお祭りや餅つき大会、老人クラブのカラオケにも参加しており地域の中でその人らしく過ごしている |
| <input type="checkbox"/> 2 | <p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> | | |
| <input type="checkbox"/> 3 | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p> | | |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| <input type="checkbox"/> 4 | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | | |
| <input type="checkbox"/> 5 | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|------|----------------------------------|
| 6 | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> | <p>地区の高齢者の方が来訪してくださり、入居者の方と一緒にお茶を飲んで会話をしたり、一緒に歌ったりして楽しんで下さっている。運営推進会議でも地域の方の意見等伺って老人センターで、地域の高齢者とカラオケをしている。</p> | | |
| 7 | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | <p>外部評価を理解しているのでミーティング等で評価を報告して話し合い、職員全員外部評価と自己評価の意義を理解して前向きに取り組んでいる。</p> | | |
| 8 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議で、地区の皆さんや、家族の方から大変よいお話を聞くことが出来たと喜んでいただけ、また推進会議でサービスの報告や話し合いが持たれている。今回の会議で嚙下障害の方が多くなってきたのでトロミ食を食べて頂き体験をして頂き好評でした。</p> | | |
| 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>市の担当者とは常に、情報や指導を受けていて市役所の会議にも参加して質の向上に取り組んでいる。</p> | | |
| 10 | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | <p>以前後見制度を利用する方がいたので学ぶ機会があったので必要な方には関係者と話し合い支援していく。</p> | | |
| 11 | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>入居者の尊厳の保持にとって、虐待を防止することが極めて重要ですので、事例を通して勉強会をして理解を深め虐待行為を周知徹底しており、特に心理的虐待が無いようにスタッフ間で注意を払い、防止している。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|---|---|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約時に十分説明をしており、疑問点や理解しにくいところは無いか聞いて説明して納得して頂いている。特に、使用料金、起こりうる危険リスク、重度化、看取り等の確認書、医療連携体制等、説明し同意を得ている。</p> | |
| 13 | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>入居者の意見には耳を傾け、何でも意見が言える雰囲気作りを心がけている。介護相談員が来てくださる時には、入居者には何でも話を聞いてくださるので困っていることや、ホームの苦情等も聞いてくださるので、話して下さいと伝えられている。</p> | |
| 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | <p>家族来訪時には必ず、声かけをして、暮らしぶりや、エピソード等を写真を見て頂き話し合っている。心身の異常時には、速やかに報告している。また、けやき新聞を発行しており様々な報告をしています。</p> | |
| 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>苦情相談機関、群馬県国民健康保険団体連合会の相談窓口のパンフレットを用意してあり、紹介している。意見や苦情のある場合、投書箱があることを説明しています。今まで苦情相談はありませんが運営推進会議等でも意見の反映が出来るようにしている。</p> | |
| 16 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>日頃から、何でも言えるようにコミュニケーションを図っており、ミーティングで要望や意見等を出して皆で考えて頂き話し合っている。新しく入居する方の面会訪問を病院まで職員が行き入居時の意見として反映させている。</p> | |
| 17 | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>状況に応じたローテーションを組み、職員の意見を聞き必要な時間帯は、職員数を増やして、調整している。</p> | |
| 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>離職がやむを得ない場合、引き継ぎの時間を長くとり、スムーズに職員の交代が出来、退職後も時々遊びに来てもらっている。</p> | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|--|------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>介護支援専門員専門課程 1, II 研修 認知症対応型管理者研修、短期専門コース、福祉施設中堅職員研修受講して、所内では勉強会を開いている。また介護福祉士の通信を受け試験に合格し、介護支援専門員の試験や介護福祉士の試験を受けたりするのを応援している。</p> | | |
| 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>安中市で行われている連絡会議、ケアプラン検討会等でのグループホームとの交流があり、情報の共有やサービスの質の向上に努めている。近くの施設での納涼祭にも入居者が参加している。</p> | | |
| 21 | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | <p>個人面接や、お茶のみ会、納涼会、忘年会等々で親睦を図り、日頃の悩みやストレスを把握しストレスを軽減するための環境づくりに取り組んでいる。職員同士の問題も、本人の許可を得て皆で話し合う場を設けている。</p> | | |
| 22 | <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> | <p>運営者は毎日出勤しており、職員の業務や悩みを把握している。また職員の資格取得に向けて支援を行って環境の整備を行っている。</p> | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 23 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>事前面接で生活状況を把握し、必ず本人に会って心身の状況や困っていること、悩んでいる事、希望する事等本人を理解できるように関係作りに務めている。</p> | | |
| 24 | <p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>ご家族が求めている事や不安な事を理解して、どのような対応が出来るか事前に話し合っている。</p> | v | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 退院してけやきに入所するはずの方が相談時、家族の不安、困っていること等を確認しており医療処置が多くホームでは不安とのことで、病院のケースワーカーと相談をして病院の方で見て頂く様になった。 | | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 見学に来て頂いたり、入院している施設や自宅を訪れて顔なじみになり、施設にも早く慣れるようにして他の入居者との関係を取り持って、場の雰囲気づくりに支援している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 季節料理や、風習や、一緒に料理をして、利用者から教えていただく事も多い。また、レクリエーション、畑仕事、掃除、カラオケ、外食、ドライブ、毎日の散歩等一緒にして喜怒哀楽を共にしています。 | | |
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 家族との連絡は密にしてコミュニケーションを図り、家族の来所時には家族との情報交換して、本人を支えるために情報を共有して支援してます。 | | |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 家族の思い、本人の思いを受け止めて、より良い関係の継続になるように働きかけを心掛けている。 | | |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 墓参りや、娘の家、妹の家に行く支援、自宅に行く支援をしている。 | | |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 利用者が孤立しないように支援しており、利用者同士の関係が上手くいくように支援している。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|---|----------------------------------|
| 32 | <p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p> | <p>退所した家族の方が時々訪れてきてくださり一緒にお茶を飲んだりして遊んでいってください。また入院で退所した方には、時々病院に面会に行っている。</p> | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | <p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握務めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p> | <p>ドライブ、毎日の食事、レクリエーション等、一人ひとりの希望、意向の把握をして利用者の視点に立って対応している。</p> | |
| 34 | <p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>利用時に家庭訪問をして本人、家族から今までの生活や習慣を伺い、継続すべき事を支援している。</p> | |
| 35 | <p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p> | <p>毎日のバイタルチェック、夜間の巡回、行動や動作等から心身の観察をして出来る事、出来ないことを等を把握をしている。</p> | |
| | | | |
| 36 | <p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>本人、ご家族との日頃の関わりの中かで意見等を聞き、反映させ、職員のカンファレンスでも意見交換をして利用者本位に考えている。</p> | |
| 37 | <p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>変化した場合はカンファレンスを行って、本人、家族に説明をして現状に即した介護計画を作成している。</p> | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|--|--|------|--|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 水分、食事摂取量、排泄チェック表、バイタルチェック、エピソード、気づき等の情報も記録して共有して関係者と連携して介護計画に活かしている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本人、家族の状況に応じて、通院等や墓参りの支援、酸素療法を受けながらの生活の継続の支援をしている。重度化した場合や、終末期をホームで過ごすこともできます。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 地域の消防団の方が運営推進会議に出席していただき、ボランティア(歌、踊り、ハーモニカ、詩吟、傾聴ボランティア、紙芝居、整容)協力しながら支援している。 | | |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | オムツ、ストマーのパウチサービスや地域のケアマネジャーと情報のやり取りをしている。 | | |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | | ○ | 今後、ホームで解決できない問題等地域包括センターと協同して支援して行きたい。 |
| 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人、家族が希望したかかりつけ医となっている。また受診、通院は本人、家族の希望で行っている。往診は月2回して頂いてます。利用者の情報は往診の前にFaXを送っております。緊急時や入院が必要な時は病院に入院を受けて頂ける事になっている。 | | |
| 44 | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 認知症に熱心なかかりつけ医の先生が家族や職員の話をよく聞いてくださり、指示、助言をいただき、専門医の必要な場合には、専門医に受診して頂いてます。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|--|------|---------------------------------------|
| 45 | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 職員に、看護師を配置しており、日々の健康管理は医療との連携を密に取って支援している。 | | |
| 46 | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院時はかかりつけの病院と連絡を取り、医師や利用者に面会に行き家族とも連絡しあい、早期退院に向けての支援をしています。 | | |
| 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 家族と終末期の過ごし方について、繰り返し話し合って確認書を書いて頂いている。 | | |
| 48 | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 重度化に伴う確認書を作成しており、利用者の状態の変化があるとき、家族と本人の気持ちの変化を再度確認して、支援につなげている。看取りは、医師、看護師、職員との連携の体制が出来ている。 | | |
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 別の場所に移り住む事例が無い。 | ○ | 入院の際には、関係者と暮らしや、ケアの継続が保てる様に情報を提供している。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|--|
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 個人情報保護法の理解等勉強会、ミーティング等で行っていて、秘密保持の徹底を図っている。またミーティング等で利用者の誇りやプライバシーを損ねないように話し合っている。 | ○ 言葉掛けや対応が利用者のプライバシーや誇りを損ねていることもあるのではないかとと思うので今後も職員のプライバシー確保の意識向上を図るために対応を徹底していきたい。 |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 外出時の洋服選び、食事のメニュー、嗜好品の選択、レクリエーション等利用者の希望、嗜好や関心事など利用者に自分で選んでいただく。 | |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援して画る | レクリエーション等は希望を聞いて、その人の希望に沿って支援しています。編み物をする人、パズルをする人、掃除する人等。 | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容、美容は本人の望む店に行けるように努めている。 | 日々の洋服選び、衣類の買物、化粧品、シャンプー、等買物の支援、ボランティアによる髪の毛のカット、床屋に行く支援等その人らしい身だしなみとおしゃれの支援をしている。行きつけの美容院まで、送迎もしていた。 | |
| 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 野菜の皮むき、筋取り、おはぎ作り、おやき作り、テーブル拭きを一人ひとりができることをしていただいて食事を楽しく職員と一緒に食べて下膳やテーブル拭き等をしていただいている。 | |
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 職員は一人ひとりの嗜好品を理解しており、状況に合わせた飲み物を飲んで頂いて居ます。牛乳嫌いの人には好きなコーヒ、、ココア、ヨーグルト嫌いな人にはゼリー等。 | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 56 | ○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 排泄チェック表で、排泄パターンを把握し、トイレ誘導を時間的に行なっている。 | | |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴の順番もなるべく、希望を取り入れ 入浴を拒む人にはチームプレイで言葉かけ、対応の工夫をしている。 | | |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | その人その人に合わせた休息や睡眠が取れるように支援している。なるべく、日中の活動をしていただき、生活のリズムを整えてくださるよう支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人ひとりの経験や智慧等発揮して頂き、楽しく過ごして頂けるように支援している。孤立して徘徊の方が歌を歌うときは別人のように生き活きとなって大きな声で上手に、歌っています。 | | |
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 小額なお金は自分の財布に所持しており、隣の店での買い物、日用品の買い物をして、自分で支払っている。お金を自分で持てない人は、家族の了解で、小額預かり、買い物をしたい時、レジでお金を渡して自分で支払って頂きおつり領収書を預かっている。 | | |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 本人に合わせた移動方法で外食、買い物、ドライブ、お花見等に出かけている。また毎日の散歩、日光浴等も行っている。 | | |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 月1回以上の行事やドライブは利用者の意見や希望を聞いて普段行けない所へ、お弁当を持ってでかけている。(榛名湖・展望の丘、榛名梅林、米山公園、高崎浜川公園、箕郷の芝桜等) またお彼岸、お盆の墓参り等の外出支援、長野県の親戚への訪問支援を行っている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|---|---|------|---|
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話のダイヤルを回せない方には、ダイヤルを回して差し上げ、お話して頂いています。何時でも電話を取つぎしている。 | | |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 訪問者歓迎です。何時も、挨拶してコミュニケーションを持ちお茶を、利用者と共にして楽しく過ごせるように配慮しています。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員は研修で学び、身体拘束しないケアをしています。 | | |
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 研修で鍵を掛ける事の弊害は理解しているが、徘徊している方がおり、二重のドアで外のドアは昼間は常時開放しており、内ドアは閉めている。利用者が外に出たいという時は、職員が必ず見守りや手を引いて外に出していただいている。 | ○ | 交通量の多い道路が前にあり非常に危険な状態なので鍵をかけています。 家族の了承も得ている。 |
| 67 | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 1つのフロアなので全員の状態を把握し易いところに居て見守っている。記録は全員が見渡せるところで書いている、安全に配慮している。、プライバシーに配慮しながら 24時間定期的に訪室して安全を確保している。 | | |
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 状態に合わせて、危険で必要でないものは、厳重に保管して している。 | | |
| 69 | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 事故、ヒヤリハットの報告記録は保存され、防止対策を職員で検討している。家族への説明も行っている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|------|---|
| 70 | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 救急法の訓練を定期的に行っている。夜勤時の緊急時の対応方法も周知している。 | | 嚥下障害時の掃除機の先に付けるノズルをかかりつけ医から紹介して頂き、職員全員で訓練をした。 |
| 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回利用者と共に消防、避難訓練をしている。また夜間を想定した訓練も行っている。地域の区長さんや近所の皆さんにも協力をお願いしている。 | | |
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 起こり得るリスクについて家族に説明をして対応策も話し合っている。 | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 普段の状況を把握しているので、容態の異常や変化があればすぐにバイタルチェックして、勤務者と情報を共有し、かかりつけ医に情報を伝えて家族にも伝えて対応している。 | | |
| 74 | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方箋は利用者ごとに保存しており、職員は服用する薬の目的、用法、用量等を把握している。薬は服用時ケースから出して手渡して服用して飲んだことを確認している。 | | |
| 75 | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 研修で便秘について学び理解し、毎日の排泄チェック、水分チェックで状態を把握して食事、運動、腹部のマッサージやかかりつけ医の処方薬等で予防と対応している、 | | |
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 食後、歯磨きの声かけをしている。歯磨きが出来ない人には、介助したり、見守っている。就寝時には義歯の手入れ、管理を行っている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|---|---|------|----------------------------------|
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事、水分摂取は厳重に毎日チェックをして、記録している。一人ひとりの嗜好を把握しているので、栄養のバランスにも配慮している。 | | |
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | インフルエンザ予防注射をしている。ホームで起こりそうな感染症に対して情報を集め、手洗い、うがいを励行して予防に努めている。職員、利用者共に手洗い、うがいを励行している。毎週日曜日は消毒日としている。 | | |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 新鮮、安全な食材を使用するため毎日買い物をしている。台所用品調理用具等は毎日衛生的に扱い、冷蔵庫や冷凍品の管理を行っている。 | | |
| 調理 | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 庭にはベンチ、ガーデンテーブル、家族の手作りの木椅子等を置きお茶を飲めるようになっている。玄関先に植木、鉢植を置き、季節感をだし家庭的な雰囲気を出している。常に外玄関は開けている。 | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホール、居室の窓は、カーテンや日差しに配慮している。共用空間は、生活感季節感のあるように意識的に取り入れている。(雛祭り、菖蒲湯、七夕、十五夜)また馴染みの物を置き自分の家だと意識をして生活できるようにしている。また季節感を出すため皆で共同して塗り絵や貼り絵をしている。 | | |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ホールには、ソファ、椅子テーブルを置いてあり、一人になりたい時は好きな所で、くつろげる様に配慮してあり、仲の良い仲間同士でくつろげる、スペースもある。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|--|------|----------------------------------|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者の好みや馴染みの物等を用意してその人らしい過ごし方をしている〔テレビ、籐椅子、化粧台、ポスター、写真、ぬいぐるみ等〕 | | |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 天井が高く、換気には、気を付けており、温度調節も温度、湿度計、加湿器を設置して職員が意識的に調節している。臭いに関してはEM液噴霧している。 | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 流しの高さは車椅子で洗面がしやすいようになっている。手すりやマット等で安全な生活が送れるようにしている。テーブルの角も安全のため丸くしてある。安全のためにリビングにはなるべく物を置かないようにしている | | |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 混乱、失敗があったときはカンファレンスで話し合い、失敗を事前に防げるように職員全員に、徹底出来る様にして自立して暮らせるように対応している。 | | |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 中庭にガーデンテーブルセット、ベンチ等を置き、外の空気、景色を楽しみ、お茶を飲んだり涼んだり、日向ぼっこをしたりゲームやシャボン玉等をして楽しんでいる。 | | |

| V. サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | ①ほぼ全ての利用者の |
| | | | ②利用者の2/3くらいの |
| | | | ③利用者の1/3くらいの |
| | | | ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある |
| | | | ②数日に1回程度ある |
| | | | ③たまにある |
| | | | ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と |
| | | | ②家族の2/3くらいと |
| | | | ③家族の1/3くらいと |
| | | | ④ほとんどできていない |

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--------------|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | | ①ほぼ毎日のように |
| | | | ②数日に1回程度 |
| | | ○ | ③たまに |
| | | | ④ほとんどない |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | | ①大いに増えている |
| | | ○ | ②少しずつ増えている |
| | | | ③余り増えていない |
| | | | ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働いている | ○ | ①ほぼ全ての職員が |
| | | | ②職員の2/3くらいが |
| | | | ③職員の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が |
| | | | ②家族等の2/3くらいが |
| | | | ③家族等の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・庭にあるけやきの木の下で、テーブルを囲みお茶を飲み、日光浴、レクリエーションやバーベキューをして楽しんでいる。
- ・毎日の散歩で隣の店に立ち寄り、お店の花や野菜をみて季節感を感じ感動し、また知人や友達、地域の方々とも、出会えコミュニケーションが出来る。
- ・地域の方々には理解があって、芋堀り、お祭りや餅つき大会、老人会のカラオケ等に参加でき地域と密着している。
- ・毎日毎食前、嚥下体操を行っている。また、筋力トレーニングも毎日散歩前に行って現状維持が保てるように努力している。
- ・医師が月2回 歯科医は随時往診来て下さり医療との連携は密に取られている。看取りは人、希望により安心してその人らしく尊厳をもって、終末期を過ごせるように支援
- ・ホールは天井が高く明るく、換気等に気をつけ。布団干しは毎週行ない清潔面に気をつけている。
- ・なるべく、おむつをしないケアを試みている。
- ・利用者や家族に対して押し付けはせず、意見や希望を聞いてその人らしい個々の人対応している。